

# マレーシア MH17 撃墜について更なる証拠が浮上

By Michael Collins

Global Research, December 17, 2014



ウクライナ政府領内にある BUK 312 (Anatoli Sharij)

マレーシア航空機 MH17 の撃墜の真相が、12月15日のユーチューブ・ビデオが、BUK 自走発射装置 312 (BUK 312) に就いていたクルーの一人を登場させたことによって、またひとつ明らかになった。ウクライナ政府や他の追随者は、BUK 312 が抵抗軍の手に渡っていた間に、MH17 を撃墜したのだと主張していた。オバマ政府はこの物語を擁護し、抵抗軍とロシアが7月17日の298人の死に責任があると主張した。このインタビューは調査記者の Anatoly Sharij によって行われ、Marina Stewart によって翻訳された。(画像：キエフの臨時政府領内にある BUK 312——アナトーリ・シャリジ)

[https://www.youtube.com/watch?v=Ri\\_D2Iz7EVw](https://www.youtube.com/watch?v=Ri_D2Iz7EVw)

この23歳の BUK 312 クルー・メンバーだった人物は、このミサイル装置は実はウクライナ軍が乗り組んでいたと明かした。彼はこのミサイル装置のあった場所と、それがどう働いたかを説明した。この前軍曹はまた、312のクルーが MH17 を撃ち落とすこと確率が、

きわめて低いことを示す分析と研究を提供した。

東部ウクライナの抵抗軍が、BUK 装置によって MH17 を撃ち落としたという主張は、抵抗軍司令官たちがこの撃墜を確認し合っているとされる、ウクライナ政府のオーディオテープに根拠を置いている。このテープは、レコーディングの肝心の箇所が撃墜の数時間前に行われていたことが発覚して信用を失った。しかもこのテープはつなぎ合わせたもので、連続した会話ではない。

<http://www.globalresearch.ca/false-flag-fake-video-of-alleged-pro-russian-militia-claiming-responsibility-for-mh-17-attack-was-made-before-plane-crash/5391985>

ウクライナ秘密情報局 (SBU) は、ロシアの BUK 312 ミサイル装置が、MH17 を撃ち落とすことができたという写真を見せると主張した。この証拠が検査のパスに失敗したとき、今度は Eliot Higgins (別名 Brown Moses) による、BUK 312 は、抵抗軍に支配されていたドネツク地区の Snizhne という町にあった証拠を示すと称する“公開資料”が出た。

<https://www.kickstarter.com/projects/1278239551/bellingcat/posts/919158>

もし BUK 312 が、言われる通り、Snizhne にあって有能な抵抗軍クルーがいたのだとしたら——ともに疑わしい仮定だが——我々は、7月15日 (MH17 の撃墜の2日前) に、ウクライナ空軍がこの地域の主要な部分をほとんど壊滅させたとき、このクルーは Snizhne を守るために何もしなかったと信じなければならなくなる。(BBC, July 15)

<http://www.bbc.com/news/world-europe-28309034>

誰が、どうやって、なぜ MH17 を破壊したのかという本当の話は、時間と共に明らかになりつつある。このインタビューは、真剣に考えてみるに値する証拠を付け加えている。この“A”として知られる前兵士は、ウクライナ軍での彼の役割と、BUK 312 ユニットがどのような構成だったかを説明した。

「私は 23 歳で、ウクライナ軍との契約兵役 (注、つまり傭兵) についていました。この夏に契約期限は切れていたのですが、私は除隊になりませんでした。その理由はお分りの通りです。私が配置されていたのは、まさに BUK 自走発射装置 312 でした…」

A は、BUK 312 ユニットは、4 人のクルーからなっていたと言う。彼は副司令官だった。このユニットは「ルガンスクから始まり、ドネツクのクラマトルスクへ移された」。この前副司令官の説明によると、312 というラベルの起源はこうだ——

3 は、第 3 (ルガンスク) 分隊を表す。

1は、砲兵隊ナンバーで、我々は No. 1 だった。

2は、それぞれの砲兵隊の2つのユニットの1つで、我々のユニットは No.2 だった。

インタビューアーの Sharij はこう尋ねる——「この BUK はロシアのミサイル発射台だと言われていたが…」

A はこう答える——「いや違う、この BUK は 100%ウクライナ製だ。…我々はみんな笑ったよ、SBU が、これを反乱軍の BUK かロシアの BUK だと言ったときにはね。」

インタビューアー「この BUK がマレーシアのボーイング機を撃ち落とすとされることについて、どう思うか？」

A 「それは知りようがない。それが起こった時には、私は Avdeevka 分隊に移されていた。私はただ、SBU (ウクライナ秘密警察) が、このボード・ナンバー312 という特定のミサイル発射台が、ボーイング機を撃墜したと言っているのを聞いただけだ。どう考えてもそれは無理だろうね。私は前の軍隊仲間の連中とも話したが、彼らは、そんなことはやっていないと言ってた。」

撃墜から数日の間は、Robert Parry が、ウクライナのミサイル・クルーが MH17 を撃ち落としたことが証拠によって明らかだという説を報告していた。これに続いて Eric Zuesse による報告が、ウクライナのジェット戦闘機が、この民間航空機を撃ち落としたという主張を確かなものとして示した。

<http://readersupportednews.org/opinion2/277-75/25147-focus-flight-17-shoot-down-scenario-shifts>

[http://www.globalresearch.ca/evidence-is-now-conclusive-two-ukrainian-government-fighter-jets-shot-down-malaysian-airlines-mh17-it-was-not-a-buk-surface-to-air-missile/5394814?utm\\_source=feedly&utm\\_reader=feedly&utm\\_medium=rss&utm\\_campaign=evidence-is-now-conclusive-two-ukrainian-government-fighter-jets-shot-down-malaysian-airlines-mh17-it-was-not-a-buk-surface-to-air-missile](http://www.globalresearch.ca/evidence-is-now-conclusive-two-ukrainian-government-fighter-jets-shot-down-malaysian-airlines-mh17-it-was-not-a-buk-surface-to-air-missile/5394814?utm_source=feedly&utm_reader=feedly&utm_medium=rss&utm_campaign=evidence-is-now-conclusive-two-ukrainian-government-fighter-jets-shot-down-malaysian-airlines-mh17-it-was-not-a-buk-surface-to-air-missile)

BUK 312 装置をめぐる憶測は、それが誰であるにせよ、真の犯人から注意をそらすための煙幕にすぎなかった可能性が高い。このインタビュー全体を眺めてみれば、巻き込まれた当事者による直接の証言の価値がわかってくるであろう。

(以下、インタビュー全体の書き写しは省略)